

米国姉妹都市派遣高校生 渡航レポート

岡町国際交流協会事務局（柳田宅） ☎(61)0296

大磯町国際交流協会から町内在住の高校生3名が7月20日(日)から8月3日(日)までの2週間、米国ウィスコンシン州ラシン市に派遣されました。ホームステイや市民との交流など貴重な体験をされた高校生たちのレポートをご紹介します。なお、高校生自らがホームステイの様子について報告する「渡航報告会」を11月8日(土)、13時から役場本庁舎4階第1会議室にて開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

人生で最も短い二週間

内田 普



私にとって海外へ行くという経験は、この姉妹都市交流が初めてでした。そのため多くの物事が、風景が、文化がとても新鮮でした。ラシン市はミシガン湖のほとりにあり、自然豊かでゆったりしている印象を持ちました。のどかで平和な街で大磯と似たものを感じました。こののどかさこそが姉妹都市になった理由かと思うほどでした。

滞在中、ラシン以外にもミルウォーキーとシカゴに訪れました。ミルウォーキーでは、地元の野球チーム「ブルワーズ」が人気で、ホーム球場内の熱気と人気はもの凄く、本場の野球を存分に楽しむことができました。

シカゴは建築の街とも呼ばれ、高層ビルや、有名な建物を多数見ることのできる都市です。私の好きな映画の撮影で使われたビルを実際に見ることができた時はとても感動しました。しかし、シカゴは華やかな部分だけで語ることは出来ません。銃社会のアメリカで、銃撃事件が最も多い都市でもあります。シカゴはアメリカの光と影が詰まった魅力的な街だったと感じました。

この2週間で貴重な有意義なものにしてくれたホストファミリー、交流協会をはじめ私を支えてくださった全ての方々へ感謝を申し上げます。ありがとうございました。

学びと気づきの毎日

浅野 龍之介

私がラシン市派遣高校生を志望したのは、先輩方からラシンやデイトンでの体験談を聞き、いつか行ってみたいと思っていたからです。そして、この活動を通して、ラシン市と大磯町の交流を深めることに貢献したいと思いました。

特に印象に残っているのは、ラシン市立図書館で柔道と詩の朗読発表をした時のことです。会場が満席になり、発表後に柔道のことや、「大磯はどんな町なのですか?」とたくさんの質問を受けました。ラシンの人々の国際交流に対する関心の高さに驚かされました。

また、現地で学んだのはフードロスに対する考え方の違いです。アメリカでは料理の量が多く、そのため食べきれなかった分を持ち帰るバックが用意されていて、食べ残しを出さない習慣を素晴らしいと思いました。日本でも増えてほしいと思う一方で、日本の気候や食品衛生の観点から考えると難しいのかもしれない。

今回の経験を通して、文化や習慣が違っても、その発見を楽しみ、相手を理解しようと努めることで交流することができ、尊重し合えば深くつながれることを学びました。この学びを生かして、ラシン市と大磯町の交流がよりよいものになるよう寄与したいと思います。



Don't hesitate

鈴木 結依

私が派遣高校生を希望した理由は2つあり、一つは大磯町の太鼓祭りの魅力を広めるため、もう一つは自身の英会話やリスニング力を向上させるためです。

最初は人見知りの性格が足枷になり不安に苛まれていました。しかし向学心までもがそがれることがなかったのは、ホストファミリーの同学年の女の子、シャーロットのおかげであると考えます。

彼女は医者になるため、またテコンドーの黒帯を取るため毎日練習に励む努力家な女の子でした。練習を見学したとき、彼女の格闘技はかっこよく尊敬の念を抱きました。



彼女に影響を受け、躊躇わずに話すことを意識しました。特に印象に残ったのは、ラシン市ダウントOWNのお店のある所に風が置かれているのですが、これは毎年ラシン市在住の画家や学生が製作し、市のアートプロジェクトに貢献しているそうです。新しいコミュニティ作りにも役立つ手段だと思いました。プレゼンでは太鼓祭りの動画を見て頂くとともに法被を着てもらいました。また私の祖母が趣味で製作しているちりめん細工も紹介しました。

この2週間で沢山の経験と成長、そして学びを与えてくれたホストファミリー、国際交流協会の皆様に深く感謝いたします。

デイトン市から学生が来磯

町国際交流協会では、7月18日(金)から8月1日(金)までの15日間、米国姉妹都市オハイオ州デイトン市の高校生3名と今回は特別参加の陶芸家2名をお迎えしました。

学生たちは町内のホストファミリー宅に滞在して、町長との面談や旧吉田茂邸、箱根・東京などの見学、英会話教室の小中学生との交流、大磯ガイド協会の英語による歴史ガイド、そして着物・茶道・華道などの日本文化も体験しました。滞在中は、多くの町民との交流を深め、大磯での夏の思い出をつくり、帰国されました。

